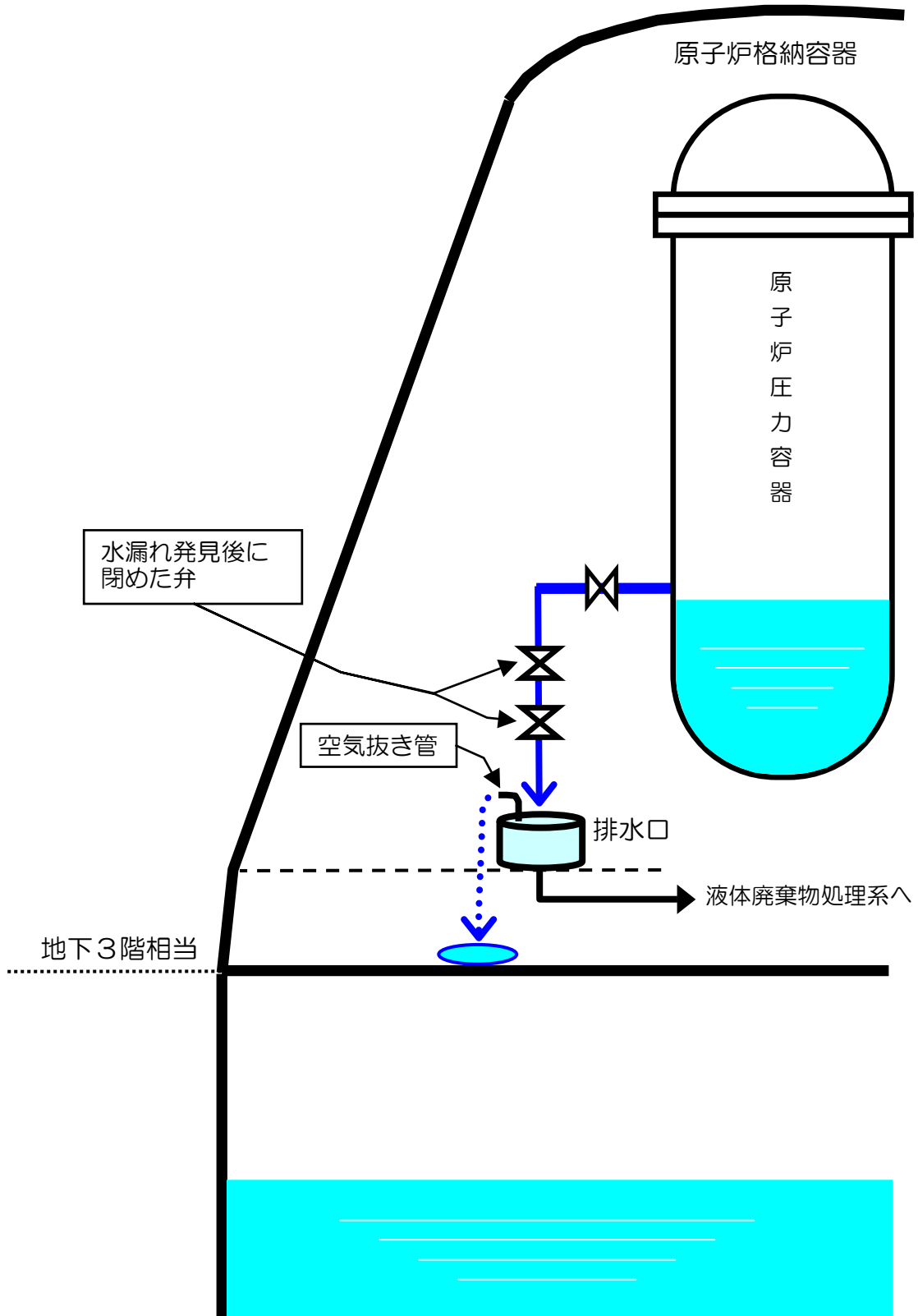


区分：

号機	2号機	
件名	原子炉建屋内(管理区域)における水漏れについて	
不適合の概要	<p>(事象の発生状況) 定期検査中の2号機において、平成20年12月14日午前11時50分頃、パトロール中の当社社員が、原子炉格納容器内(地下3階相当)において排水口の空気抜き管から水が飛散し、滴下していることを発見しました。その後、速やかに排水口に流入している水の弁を閉め、飛散を止めました。滴下し床面に溜まった水の量は約1リットル、放射エネルギーは約1.2×10^4ベクレルでした。</p> <p>(原因) 調査の結果、原子炉圧力容器の水抜き作業において、排水口へ流れる水の量を調整しながら水を抜いていたところ、当該の水の一部が排水口の空気抜き管から飛散し、床面に滴下したことがわかりました。</p> <p>(安全性、外部への影響) 本事象により漏れた水は原子炉格納容器内(堰内)にとどまっており、外部への放射能の影響はありません。</p>	
安全上の重要度 / 損傷の程度	<安全上の重要度> 安全上重要な機器等 / その他設備	<損傷の程度> 法令報告要 法令報告不要 調査・検討中
対応状況	床面に漏れた水は12月14日に拭き取りによる清掃を実施しました。 対策として、水抜き作業において排水量の監視を強化し、適切な流量で実施します。 また、排水口の空気抜き管を養生し、万が一の場合でも水が飛散しないような対策を行います。	

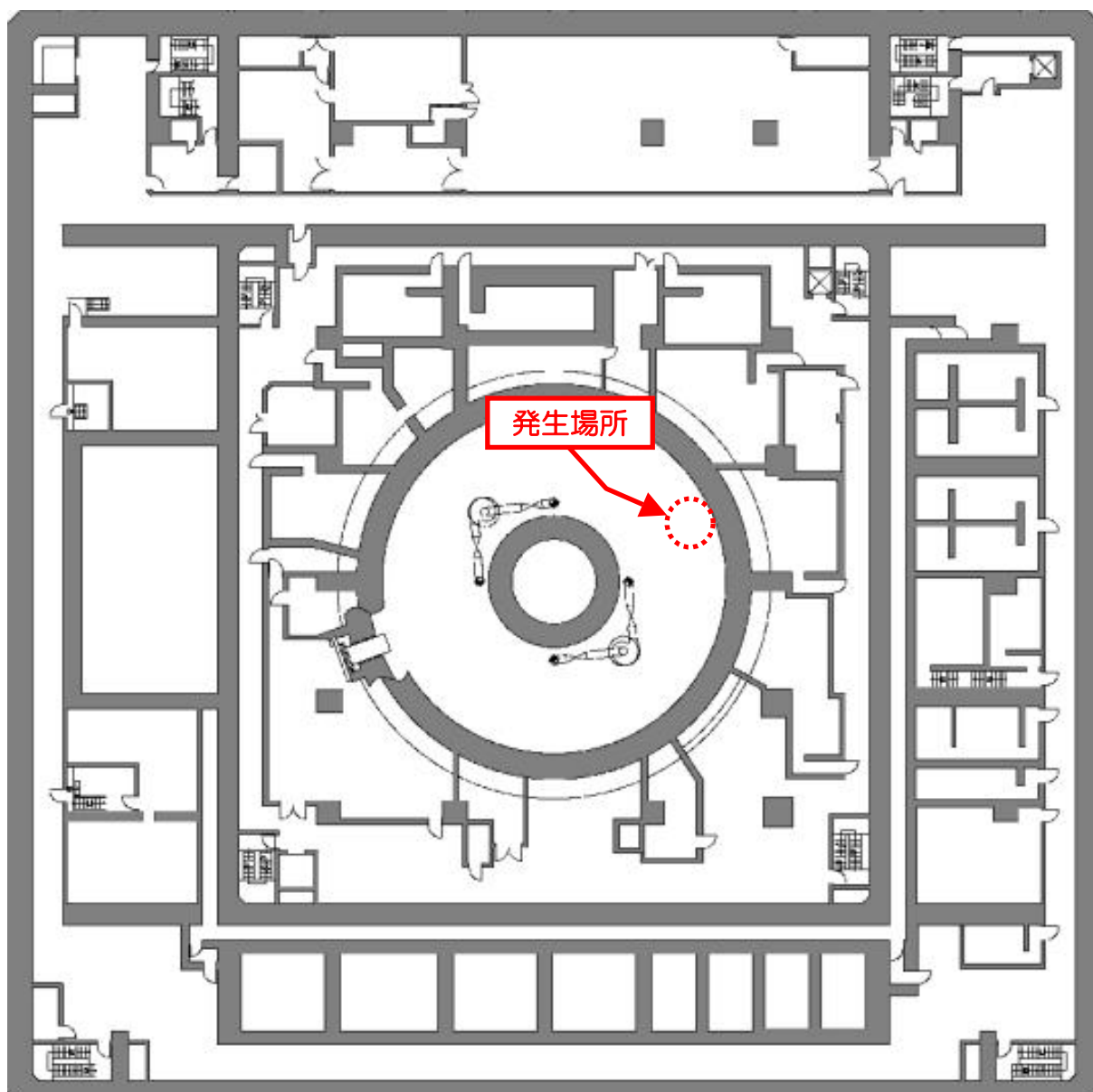
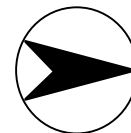
添付図

2号機 原子炉建屋内（管理区域）における水漏れについて



添付図

2号機 原子炉建屋内（管理区域）における
水漏れについて



柏崎刈羽原子力発電所2号機 原子炉建屋 地下3階